

平成 21 年度福岡市商店街実態調査結果まとまる

経済振興局では、商店街の振興に関する基礎資料とするため、初めて福岡市内の商店街の実態調査を実施しました。調査結果がまとまりましたので、以下の通り報告します。

【調査概要】						
調査対象	: 市内の商店街 (196 団体)					
調査方法	: 郵送調査及び訪問調査					
調査基準日	: 平成 21 年 8 月 1 日					
回収数	: 146 (回収率 74. 5%)					
		項目	商店街 (単体)	連合組織	合計	
		調査票発送数	1 8 2	1 4	1 9 6	
		有効回収数	1 3 3	1 3	1 4 6	
		未回収数	4 9	1	5 0	
		内 訳	活動中	15	1	16
			解散・休止等	34	0	34
		回収率 (%)	73. 1	92. 9	74. 5	

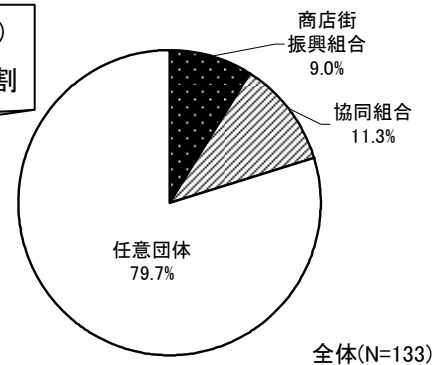
★調査結果の概要★

◆商店街のプロフィール

- 福岡市内の商店街は 162 団体 (単体商店街:148 連合組織:14)
商店街の組織は、法人格を持たない任意団体 (79. 7%) が 8 割

※連合組織：複数の商店街で構成する商業団体

商店街振興組合	商店街振興組合法に基づく商店街
協同組合	中小企業団体の組織に関する法律に基づく商店街
任意団体	上記以外の商業団体



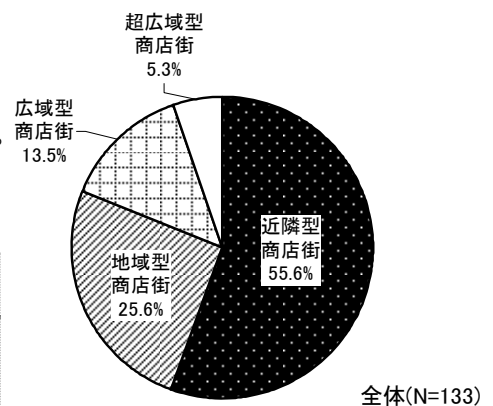
- 商店街のタイプ・・報告書 P5

商店街のタイプは「近隣型」と「地域型」で 8 割 (全国は 9 割)

- ・会員が 40 店舗未満の規模の小さな商店街がほとんど。(61. 9%)

※商店街のタイプとは以下のとおりです。

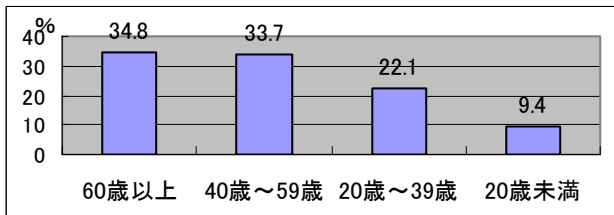
近隣型商店街	最寄品中心で地元主婦が日用品などを徒歩または自転車などにより日常性の高い買い物をする商店街
地域型商店街	最寄品及び買い回り品店が混在し、近隣型商店街よりもやや広い範囲から、徒歩、自転車、バス等で来街する商店街
広域型商店街	百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品店より買い回り品店が多い商店街
超広域型商店街	百貨店、量販店等を含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、遠距離からの来街者が買い物をする商店街



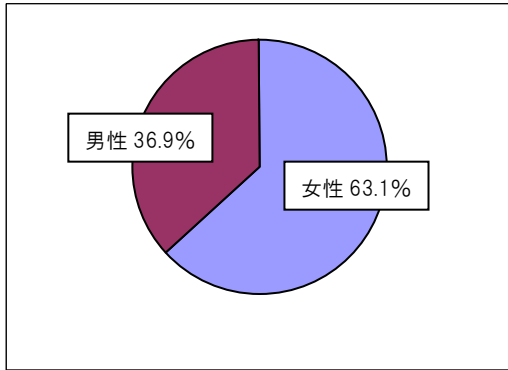
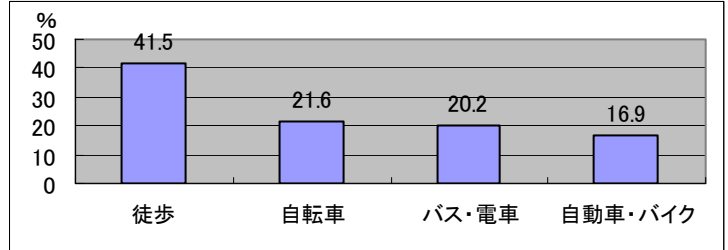
◆来街者の状況

●来街者の性・年代 ・・報告書 P28

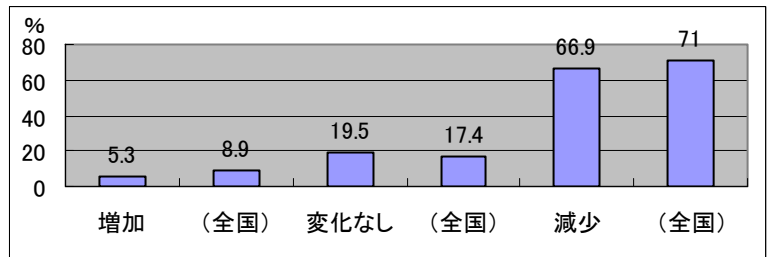
来街者は40歳以上が7割、女性が6割強。



・地域に密着した商店街が多いので、徒歩又は自転車での買い物がほとんど(63.1%)。



・来街者の状況を3年前と比べると、減少が54.4%となっているが、減少率は全国よりも小さくなっている。



◆商店街の業種構成

※全国：H18年度商店街実態調査報告書（中小企業庁）

●商店街の構成店舗数は、「織物・衣服・身の回り品小売業」（18.2%）が最も多く、「飲食料品小売業」（17.0%）、「一般飲食店」（13.7%）、「その他の小売業」（13.6%）がつづいている。報告書 P17

業種	各種商品小売業	織物・衣服・身の回り品小売業	飲食料品小売業	自動車・自転車小売業	用機械器具小売業	家具・じゅう器・家庭	その他の小売業	一般飲食店	遊興飲食店	洗濯・理容・美容・浴場業	その他の生活関連サービス業	娯楽業	その他	非商店
	1.4%	18.2%	17.0%	1.2%	3.5%		13.6%	13.7%	6.6%	7.1%	2.4%	1.0%	10.2%	4.1%

・「近隣型」や「地域型」では、「飲食料品小売業」、「その他の小売業」、「織物・衣服・身の回り品小売業」などの減少率が大きくなっている。

☆：大きく増加 ★：大きく減少

●業種構成の変化・報告書 P18

増減率を3年前と比べると、商店街の店舗に「非商店」が増加。

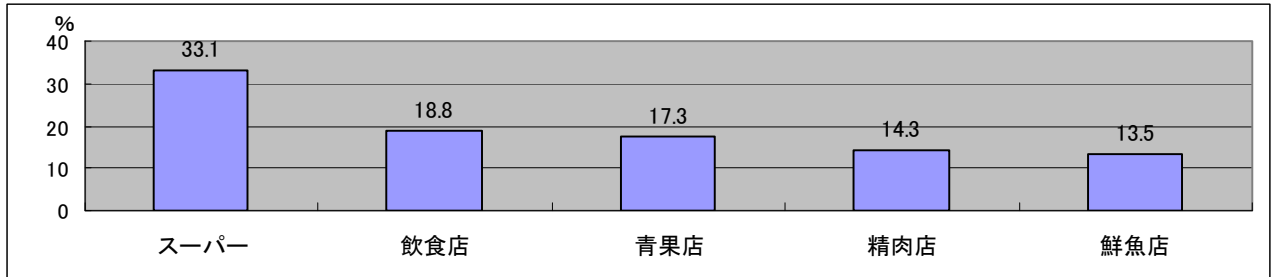
	各種商品小売業	★織物・衣服・身の回り品小売業	★飲食料品小売業	自動車・自転車小売業	用機械器具小売業	家具・じゅう器・家庭	★その他の小売業	一般飲食店	遊興飲食店	洗濯・理容・美容・浴場業	その他の生活関連サービス業	娯楽業	☆その他	☆非商店
全体	-3.7%	-11.3%	-12.8%	-3.7%	-4.5%		-15.8%	-6.0%	2.3%	-3.3%	2.2	0.0	6.7	4.5
近隣型	-2.7%	-12.2%	-20.3%	-4.0%	-5.4%		-17.5%	-2.7%	0.0%	1.3%	2.7%	0.0%	12.2%	4.0%
地域型	-8.9%	-32.4%	-17.6%	-5.9%	-2.9%		-20.6%	-14.7%	5.9%	-14.7%	3.0%	-5.9%	0.0%	8.8%

※増減率：（「増加」の回答率）－（「減少」の回答率）

◆集客核の状況

●集客に寄与している店舗・・報告書 P24
集客は「スーパー」が一番。

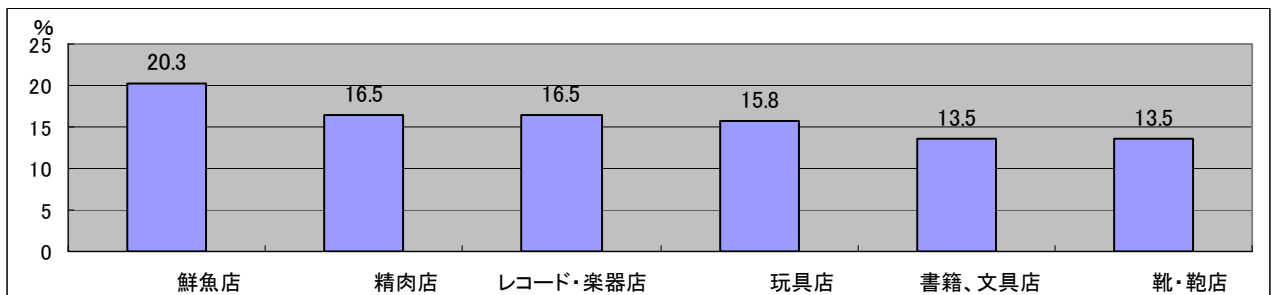
・商店街タイプ別でも「近隣型」と「地域型」で「スーパー」が最も多く、次いで生鮮三品や飲食店が多くなっている。



●不足業種・・報告書 P21

不足している業種については「鮮魚店」(20.3%)。

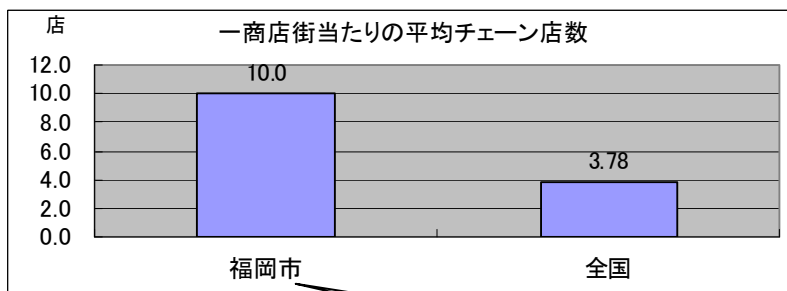
・次いで「精肉店」(16.5%) 及び「レコード・楽器店」(16.5%)、「玩具店」(15.8%)となっている。



●チェーン店・・報告書 P22

商店街区内におけるチェーン店の店舗数の平均をみると 10.0 店。

・商店街の会員となっているチェーン店の会員店舗数の平均は、9.1 店である。



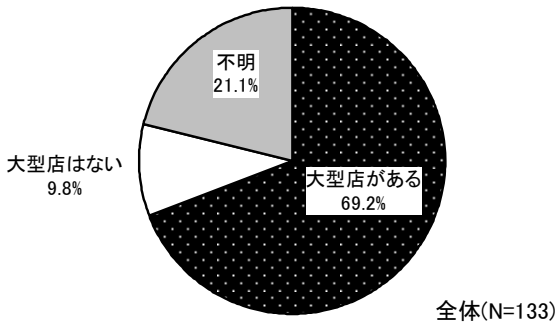
うち、会員である平均店舗数：9.1

◆商圏と大型店の状況

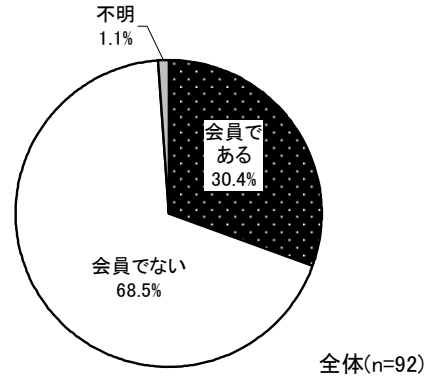
●商圏・・報告書 P26

商圏内に大型店がある商店街は7割。そのうち、大型店の会員がいる商店街は3割。

商圏における大型店の有無



大型店の商店街団体への加入の有無



- ・3年前と比べた商圏内の大型店の数の増減については、「変化なし」と回答した商店街は58.6%である。
- ・大型店が「増加した」商店街について、売上げが「減少した」と回答した商店街は84.8%を占め、「増加した」と回答した商店街は3.0%となっている。
- ・大型店が「減少した」については、売上げが「減少した」と回答した商店街は100.0%、「増加した」は無となっている。

大型店による売上げへの影響

上段:構成比% 下段:実数		サンプル数	増加した	変化なし	減少した	不明
全体		100.0 43	2.3 1	7.0 3	88.4 38	2.3 1
3年前と比較した商圏内の大型店の数の変化別	増加した	100.0 33	3.0 1	9.1 3	84.8 28	3.0 1
	変化なし	-	-	-	-	-
	減少した	100.0 10	-	-	100.0 10	-

◆空き店舗の状況

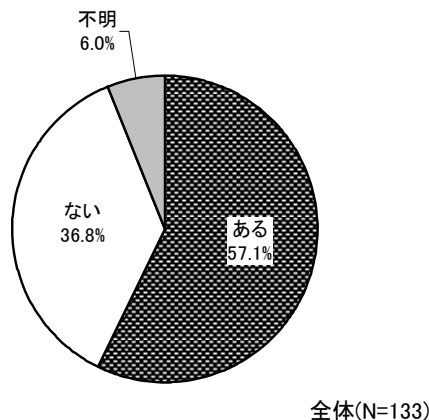
●空き店舗の有無・・報告書 P32

空き店舗がある商店街は6割弱。

- ・空き店舗がある商店街は、タイプ別では「近隣型」が60.8%、「地域型」が70.6%と半数を超えている。

空き店舗の有無

有無別



タイプ別

上段:構成比% 下段:実数		サンプル数	ある	ない	不明
全体		100.0 133	57.1 76	36.8 49	6.0 8
商店街タイプ別	近隣型	100.0 74	60.8 45	33.8 25	5.4 4
	地域型	100.0 34	70.6 24	23.5 8	5.9 2
	広域型	100.0 18	27.8 5	61.1 11	11.1 2
	超広域型	100.0 7	28.6 2	71.4 5	- -

●空き店舗の数・・報告書 P32

商店街の空き店舗数の平均は「3.2店」。

・商店街の空き店舗数は、「1店」(32.9%)又は「2店」(23.7%)が多い。

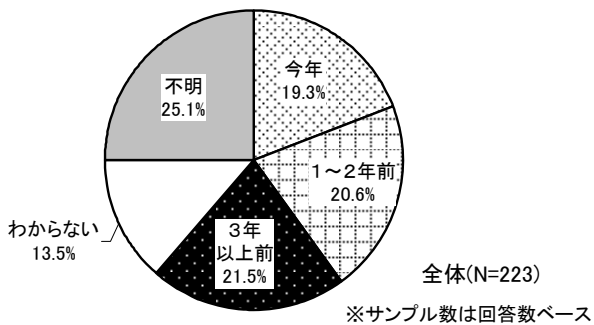
※全国平均空き店舗数：5.3

		上段：構成比%	サンプル数							下段：実数	下段：平均(店舗数)
			1店	2店	3店	4店	5店	6店以上	不明		
全体		100.0 76	32.9 25	23.7 18	9.2 7	7.9 6	11.8 9	11.8 9	2.6 2	233 3.2	
商店街タイプ別	近隣型	100.0 45	28.9 13	26.7 12	11.1 5	6.7 3	11.1 5	15.6 7	- -	155 3.4	
	地域型	100.0 24	37.5 9	20.8 5	4.2 1	12.5 3	12.5 3	8.3 2	4.2 1	65 2.8	
	広域型	100.0 5	40.0 2	- -	20.0 1	- -	20.0 1	- -	20.0 1	10 2.5	
	超広域型	100.0 2	50.0 1	50.0 1	- -	- -	- -	- -	- -	3 1.5	

●空き店舗になった時期・・報告書 P33

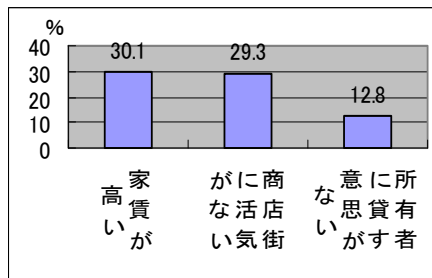
空き店舗になった時期は、2年以内が4割。

空き店舗となった時期



●空き店舗のままの要因・・報告書 P37

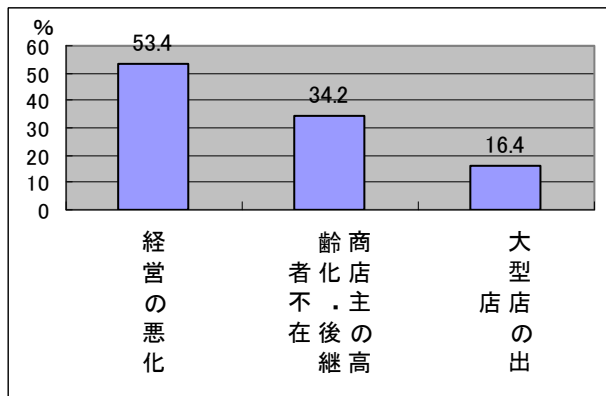
空き店舗のままである要因は、「家賃が高い」(30.1%)が最多。



・次に多いのが「商店街に活気がない」(29.3%)、「所有者に貸す意思がない」(12.8%)などとなっている。

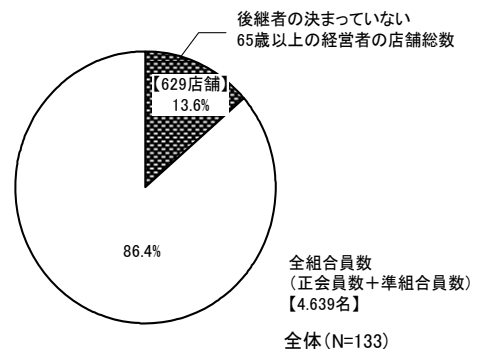
●空き店舗になった理由・・報告書 P36

空き店舗となった主な理由は「廃業」(46.2%)で、その原因は「経営の悪化」(53.4%)。



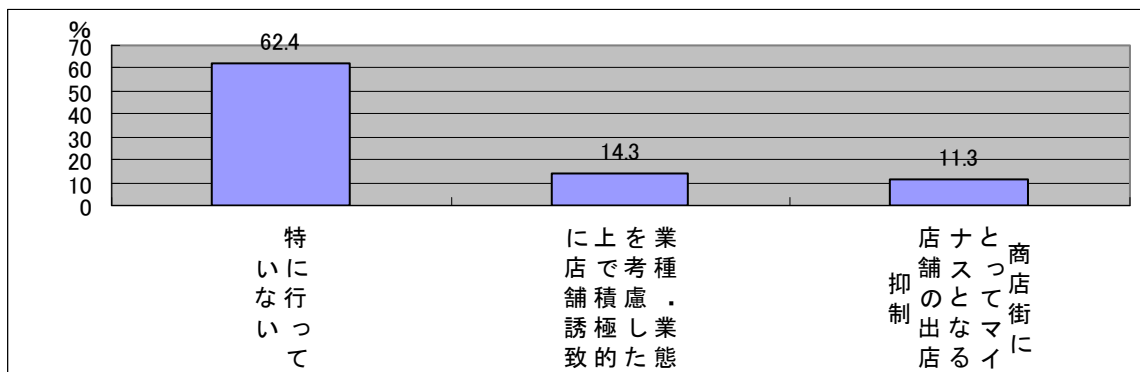
・次いで「店主の高齢化・後継者の不在」(34.2%)となっている。

・商店街全体で後継者の決まっていない65歳以上の経営者の店舗の割合は13.6%となっている。



●店舗の入れ替りの取組み・・・報告書 P44
「特に行っていない」(62.4%)。

・店舗の入れ替りの取組み内容としては「業種・業態を考慮した上で積極的に店舗誘致」(14.3%)、「商店街にとってマイナスとなる店舗の出店抑制」(11.3%)などとなっている。

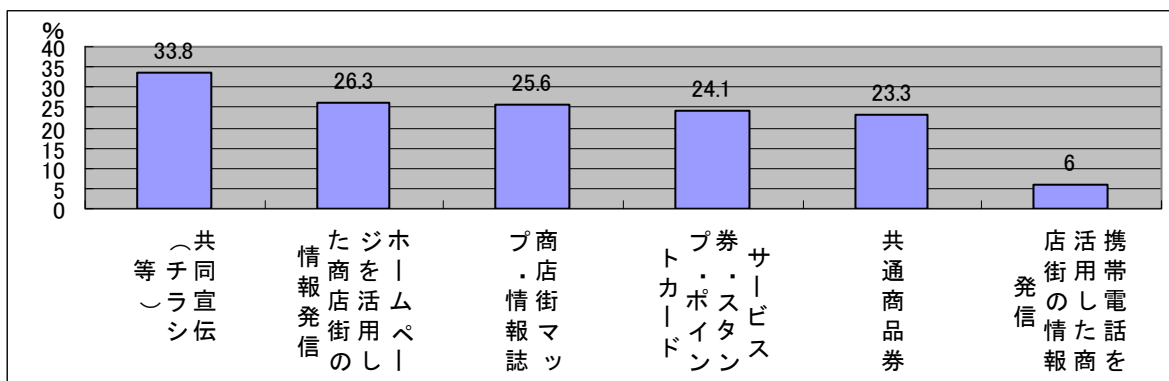


◆商店街の活動と運営の状況

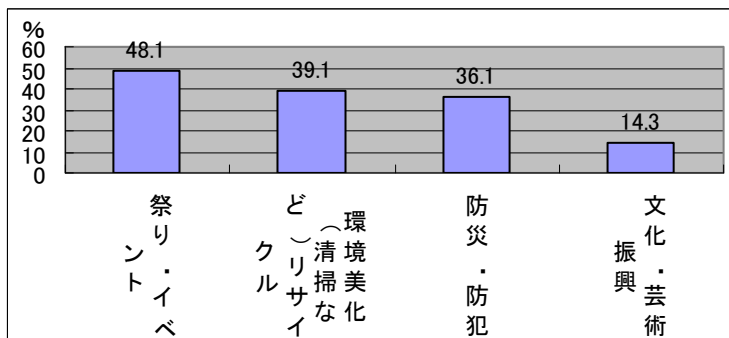
●各種事業の実施状況・・・報告書 P46

ソフト事業を実施する商店街がみられる一方、地域活動に取り組んでいる商店街も多い。

・ソフト事業の実施状況については、「共同宣伝(チラシ等)」が(33.8%)最も多く、「ホームページを活用した商店街の情報発信(店舗・駐車場情報等)」(26.3%)、「商店街マップ・情報誌」(25.6%)及び「サービス券、スタンプ、ポイントカード」(24.1%)とつづく。



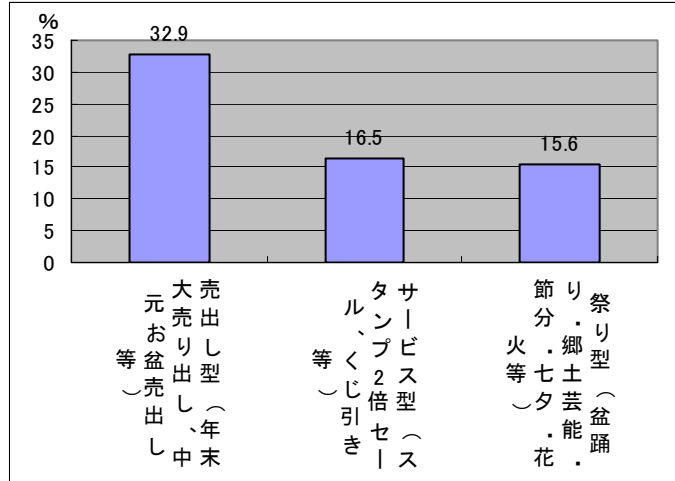
・地域活動の実施状況については、「祭り・イベント」(48.1%)が最も多く、「環境美化(清掃など)リサイクル」(39.1%)、「防災・防犯」(36.1%)、「文化・芸術振興」とつづく。



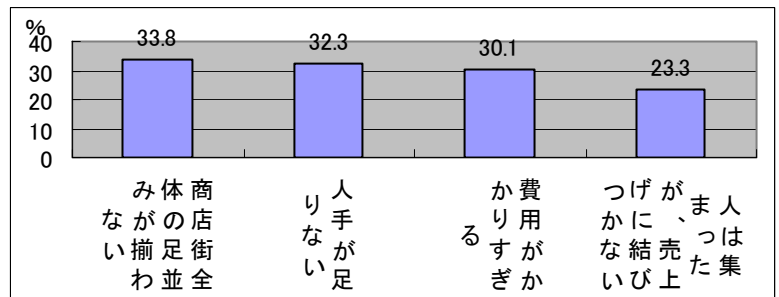
◆イベント等の実施状況

●イベントの実施・・・報告書 P50

最近 1 年間に実施したのは、「売出し型（年末大売り出し、中元お盆売出し等）」（32.9%）が最も多く、「サービス型（スタンプ2倍セール、くじ引き等）」（16.5%）、「祭り型（盆踊り、郷土芸能、節分、七夕、花火等）」（15.6%）がつづいている。



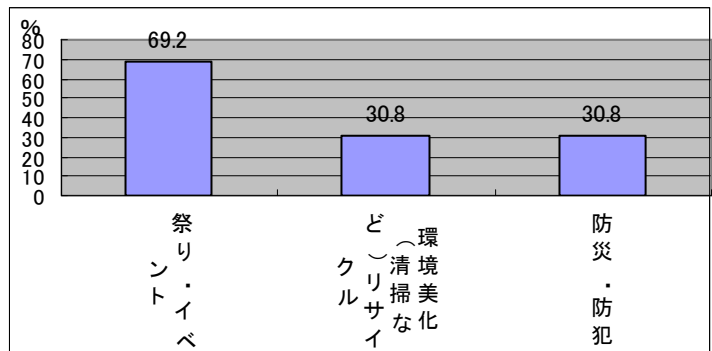
・イベントを実施するうえで問題になっていることは、「商店街全体の足並みが揃わない」（33.8%）が最も多く、次に「人手が足りない」（32.3%）、「費用がかかりすぎる」（30.1%）が多い。



◆連合組織の活動状況

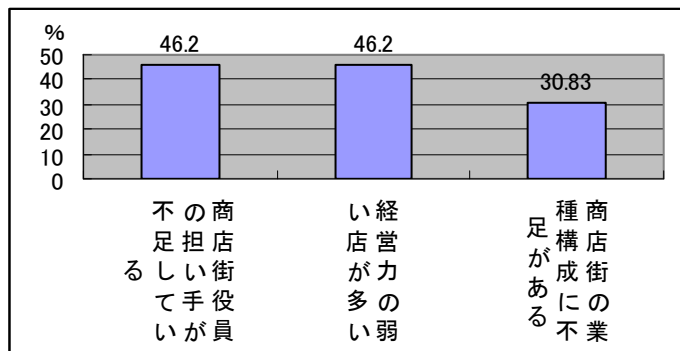
●活動・・・報告書 P69

連合組織の各事業の実施状況については、地域活動である「祭り・イベント」（69.2%）が最多。



・つづいて、「環境美化（清掃など）リサイクル」（30.8%）、「防災・防犯」（30.8%）とつづく。

・連合組織の抱える問題点は、「商店街役員の担い手が不足している。」（46.2%）と「経営力の弱い店が多い」（46.2%）が最も多いとなっている。

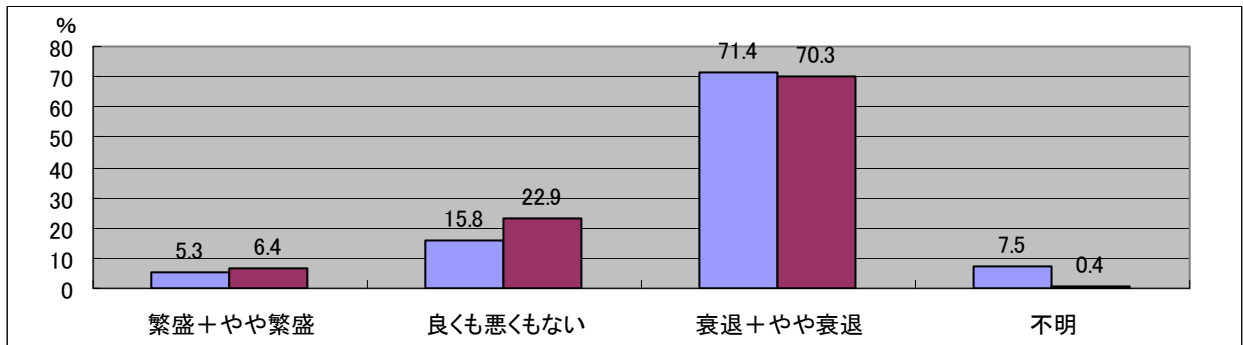


◆商店街の景況

●景況・・・報告書 P29

現在の景況については「衰退している」(36.1%)、「やや衰退している」(35.3%)で7割強。

・調査の時期や方法は異なるので一概に比較ができないが、市内の商店街の景況については全国的な傾向と同様の傾向となっている。



(注) 左：福岡市 右：全国

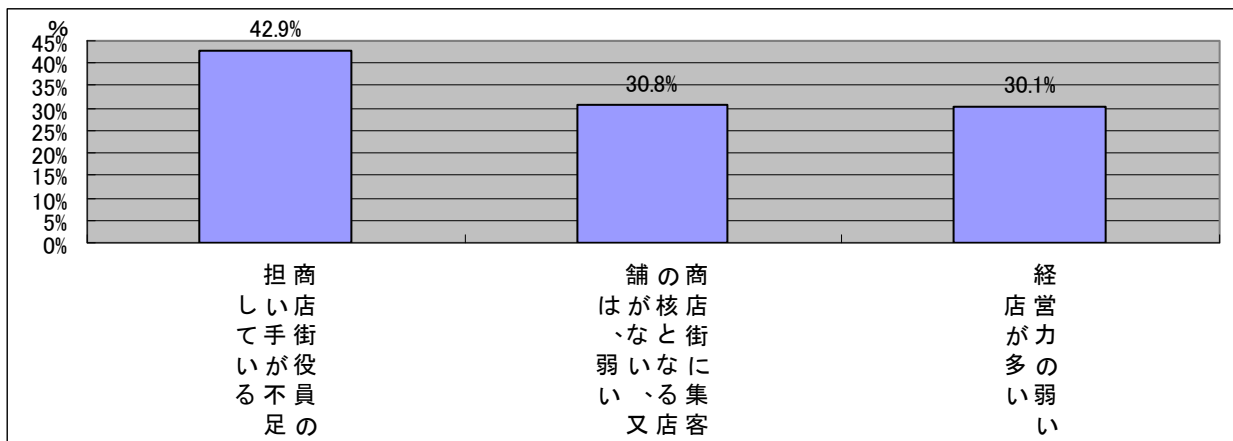
(H21) (H18)

◆商店街が抱える問題点

●抱えている問題点・・・報告書 P59

「商店街従業員の担い手が不足している」(42.9%)

・つづいて「商店街に集客の核となる店舗がない、又は弱い」(30.8%)、「経営力の弱い店が多い」(30.1%)となっており、任意団体や近隣型の商店街でこれらの項目を上げる商店街が目立つ。



※ 全国の状況：「魅力ある店舗が少ない」(36.9%)、

「商店街活動への事業者の参加意識が薄い」(33.4%)

「経営者の高齢化等による後継者難」(31.4%)

福岡市経済振興局産業振興部地域商業課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号 福岡市役所 14階

Tel 092-711-4822 FAX 092-711-4354